

## 常 備 消 防 費

## 総 務 課

### (1) 乙訓消防組合

乙訓消防組合に対し、分担金を負担した。

## 非 常 備 消 防 費

## 総 務 課

(1) 消防団は郷土愛護の精神に基づき、あらゆる災害に対処するため、団長以下一致団結し、防火防災活動を行った。

事 業 名	実施年月日	参加者数	場 所
初級団員教養訓練	H25.5.19	32 人	大山崎消防署駐車場及び訓練体育室
大山崎町水防訓練	H25.6.2	36 人	桂川右岸大山崎水防倉庫前
特別警報発令に伴う広報、避難誘導活動	H25.9.16	50 人	管内一円
消防団幹部教養訓練	H25.9.29	32 人	大山崎消防署駐車場
フェンシング大会警備	H25.10.26・27	12 人	大山崎町立体育館
おおやまざき産業まつり 消防団コーナー	H25.11.3	11 人	大山崎消防署駐車場
秋の火災予防運動に伴う広報パトロール	H25.11.9～14 6日間	43 人	大山崎町管内
大山崎町防災訓練	H25.11.17	24 人	第二大山崎小学校及び付近地域
天王山行方不明者捜索に伴う召集	H25.11.23	26 人	大山崎町管内
年末特別警戒	H25.12.25～31	190 人	大山崎町管内(各分団詰所)
大山崎町消防出初式	H26.1.12	52 人	大山崎町立体育館
春の火災予防運動に伴う広報パトロール	H26.3.1～7 6日間	30 人	大山崎町管内
乙訓二市一町総合消防訓練	H26.3.2	25 人	大山崎町(ダイハツ工業(株)本社(池田)・京都工場)

(2) 消防団は火災予防にも積極的に取り組むとともに、府立消防学校に団員を派遣し、各種の教育を実施した。  
また、研修のため管外へも団員を派遣し、情報収集や見聞を広め、団員の資質向上に努めた。

○京都府立消防学校派遣研修

消防団員幹部教育初級幹部科	1日	3人	京都府立消防学校
消防団員専科教育警防科	1日	3人	京都府立消防学校
○団幹部管外視察研修	2日	6人	広島県呉市他
○管外視察研修	1日	30人	福知山市消防防災センター他
○第28回京都府消防大会	1日	21人	京都国際会議場
○京都府消防協会乙訓支部管外視察研修 (消防団120年、自治体消防65周年記念)	2日	3人	東京ドーム

(3) その他

消防団は、分団ごとに毎月自主訓練を行っているほか、消防車両を常時出動可能な状態にしておくための機関点検等を行うなど、万一の災害に備えている。

消 防 施 設 費		総 務 課	
(1) 消防団詰所(第2分団)用地整備工事			10,141,215 円
(2) 防火水槽解体撤去工事			1,399,560 円
(3) 消火栓設置負担金			1,279,950 円
(4) 水道事業特別会計負担金			
消火栓等維持費	公設水利の維持管理費用		3,396,000 円
	消火栓	229箇所	} 283箇所×1,000円×12ヶ月
	防火水そう	54箇所	

水 防 費		総 務 課	
(1) 水防出動に備え、水防活動に必要な資器材を購入した。			
水防活動用資材(土のう袋、コンクリートパネル他)			69,323 円
(2) 桂川・小畑川水防事務組合			
京都市・長岡京市・大山崎町で構成する水防事務組合の負担金			280,000 円
水防事務組合水防訓練			
	訓練日:H25.5.12		
	場 所:淀川右岸淀大橋下流河川敷		

〈資料1〉 火災概要(過去3年間)

区分		年別	平成23年	平成24年	平成25年	昨年との比較増(減▲)
火災件数	計		4	7	5	▲ 2
	建物		1	4	2	▲ 2
	車両		1	2	1	▲ 1
	林野		1	0	0	0
	その他		2	1	2	1
建物焼損床面積 (㎡)			0	160	6	▲ 154
建物焼損表面積 (㎡)			0	16	0	▲ 16
林野焼損面積 (a)			0	0	0	0
焼損棟数	全焼		0	1	0	▲ 1
	半焼		0	0	0	0
	部分焼		0	2	1	▲ 1
	ぼや		1	2	1	▲ 1
り災人員			0	3	2	▲ 1
り災世帯	全損		0	0	0	0
	半損		0	0	0	0
	小損		0	2	1	▲ 1

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

区分		年別	平成23年	平成24年	平成25年	昨年との比較増(減▲)
死傷者	死者		0	0	0	0
	負傷者		0	1	0	▲ 1
損害額(千円)			4,268	219,676	91,000	▲ 128,676
主な火災原因	たばこ		0	1	1	0
	こんろ		0	0	1	1
	火入れ		0	0	0	0
	たき火		0	0	0	0
	火あそび		1	0	0	0
	こたつ		0	0	0	0
	電気機器		0	0	0	0
	配線器具		0	0	0	0
	放火・放火の疑い		1	1	0	▲ 1
	その他		2	5	3	▲ 2
	不明		0	0	0	0
	計		4	7	5	▲ 2

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

〈資料2〉 救急活動概要(過去3年間)

区分		年別			昨年との比較増(減▲)
		平成23年	平成24年	平成25年	
出 動 件 数		1,006	1,069	988	▲ 81
取 扱 件 数		947	1,003	926	▲ 77
事 故 別	交 通 事 故	144	152	125	▲ 27
	急 病	621	643	579	▲ 64
	一 般	149	161	169	8
	そ の 他	92	113	115	2
救 護 人 員		969	1,025	937	▲ 88

事故別の出動状況を見ると急病が579件と最も多く、全体の約 60%を占めた。

(乙訓消防組合統計より)

大山崎消防署が出動した件数で、町外への出動を含む。

〈資料3〉 消防団の出動状況(平成25年度中)

区分		種別	計	災 害 出 動			演 習 ・ 訓 練	広 報 活 動	研 修 ・ 会 議	機 関 点 検	特 別 警 戒	そ の 他	
				火 災	う ち 林 野	捜 索 活 動							風 水 害 等 の 災 害
消 防 団	出 動 回 数	129	0	0	1	1	12	12	23	51	10	19	
	出 動 延 人 員	1,301	0	0	26	50	224	73	143	297	258	230	

消防団員は、火災、その他の災害による被害を最小限にとどめるため、専門知識の習得、技術の練磨を重ねた。

# 災害対策費

## 総務課

### 1. 災害警戒本部設置状況

日時	事象
7月13日(土)	大雨、洪水警報発表
7月14日(日)	大雨、洪水警報発表
9月2日(月)	大雨警報発表
9月4日(水)	大雨、洪水警報発表
9月15日(日)	大雨、洪水警報発表

### 2. 災害対策本部設置状況

日時	事象	備考
9月16日(祝・月)	午前2時40分 桂川下流はん濫危険情報(レベル4)発表 午前5時5分 特別警報(大雨)発表 午前9時10分 桂川下流はん濫発生情報(レベル5)発表 午前9時58分 特別警報(大雨)解除 午後3時55分 桂川下流はん濫注意情報解除 午後4時 避難指示解除	JR線路より東側の3,200世帯7,800人を対象に避難勧告及び避難指示を発令 避難勧告:午前3時50分発令 避難指示:午前5時30分発令、午後4時解除  次の避難所に計約2,000人が避難 大山崎小学校・第二大山崎小学校・大山崎ふるさとセンター・大山崎中学校

- ・総雨量288mm(9月15日～16日)
- ・桂川羽束師ピーク水位:OP+18.594m(9月16日午前9時。計画高水位:OP+17.101mを上回り、観測史上最高水位を記録)
- ・避難者には、食糧1,150食、飲料1,100ℓ(※)、毛布400枚を配布 ※一部「災害時における物資の供給等協力に関する協定」を活用。
- ・被害:工場浸水1件、桂川河川敷公園冠水、住宅一部損壊1件

### 3. 防災パトロール

大山崎町地域防災計画に基づき、梅雨期とそれに続く台風襲来期を迎えるにあたり、防災関係機関の協力を得て、災害時に危険が予想される箇所の総点検を実施し、防災上必要な対策を検討し、万全を期すことを目的に実施した。

実施日 : 平成25年5月20日

参加者 : 28名

パトロール実施箇所 : 御茶屋池、千谷川砂防堰堤

#### 4. 自主防災組織の結成及び支援

自主防災組織の活動を支援するため、災害発生時に地域で初動活動が行えるよう町有地3箇所防災資機材倉庫を設置した。  
また、自主防災活動補助金を支出した。

倉庫設置箇所 : 二階下公園、尻江第3公園、高橋公園  
補助金の支出 : 72,000円(計4件)

#### 5. 防災訓練の実施

土砂災害の発生を想定して、町職員の災害対応力を向上させ、関係機関との連携を強化するとともに、住民の自主防災活動を促進することにより、地域の防災力を高めることを目的として実施した。

日 時 : 平成25年11月17日(日)  
場 所 : 第二大山崎小学校  
参加機関 : 大山崎町、大山崎消防署、大山崎町消防団、対象区域自治会・町内会、対象区域自主防災組織(住民参加191名)  
内 容 : 大山崎町災害対策本部の運営訓練、地域住民の避難行動訓練、地域住民参加型の避難所(第二大山崎小学校)の開設・運営訓練(福祉コーナー等の設置、仮設トイレ・マンホールトイレの設置、炊き出し)

#### 6. 防災資機材の整備

仮設トイレ、備蓄用の飲料水を調達、各避難所等に配備した。

調達物資 : 仮設トイレ15基、飲料水2,400本(1,200リットル)※

※飲料水については、このほか、平成25年9月16日台風第18号の際、協定締結先から3,000本(1500リットル)を緊急に調達。

#### 7. 防災啓発の実施

出前講座 : 防災に関する出前講座を計7回実施し、さらに大山崎中学校2年生を対象に防災授業を実施した。

広 報 : 6月号から10回にわたり「広報おおやまざき」に防災記事を掲載し、住民の防災意識の高揚を図った。

また、台風第18号の検証冊子を作成、全戸配布し、住民と水害に対する課題の共有を図った。

展 示 : 平成26年1月14日(火)～31日(金)、役場町民ロビーにおいて「減災」啓発展示を実施した。

そ の 他 : 平成26年3月に、5回にわたり老人福祉センター「長寿苑」において「出張防災啓発」を実施、町防災防犯情報メールの登録などを呼びかけた。

